

新型コロナ休校で、子どもの交通事故に注意 ドライバーや保護者は今まで以上の注意を！

人や車の動きに、例年にはない大きな変化
子どもたちが**思わぬ時間帯**に、**思わぬ場所**へ出かける
住宅街や駐車場での最徐行

2020/4/12(日) 6:12

新型コロナウイルスの**感染拡大**を防ぐため、全国の学校で**臨時休校**の措置が取られてる中、**子どもの交通事故被害**が心配されています。

休校中は基本的に「各家庭で学習を」とのことですが、特に気候のよい今の時期、**元気な子どもたちが自宅でじっとしていることは大変難しい**ようです。
逆に、**外出の機会**が増えてしまうことも懸念されています。

■休校中は、**昼間も子どもたちが近くに！** **ドライバーは細心の注意を**

今まさに、感染症とは**別の危険**が全国各地に潜んでいることを、**ドライバー**も、そして保護者も心しなければなりません。

筆者も日中、車で**買い物**に行ったときなどに**ヒヤリ**とすることがあります。

駐車場で、**子どもたちの姿**をいつもより**多く**見かけるからです。

『あれ？、春休みはとっくに終わっているはずなのに……』

一瞬、不思議な感覚になるのですが、

『そうだ、今は**幼稚園**や**小学校**が**お休み**になっているんだ！』

ということに気づかされます。

■事故が**多発する時間帯**も、休校措置によって**変化する？**

警察庁の統計によると、**4月から6月**は小学生が1年のうちでもっとも**交通事故に遭いやすい時期**となっています。

この件については、**昨年**の5月、以下の記事で既にレポートしました。

『**5月**は子どもの交通事故が**激増！** 小学1年生の「ひとり歩きデビュー」に注意』

また、低学年の子どもが事故に遭う時間帯は、**午後3～5時台**に集中しています。

つまり、**下校時**、または**帰宅後**に**友達の家**や**公園**、**習い事に行く途中**などに**危険**が潜んでいるということですよ。

子どもたちの**下校時**は、ドライバーにとっては**特に緊張感**が必要な時間帯です。

逆に言えば、**平日の昼間**は、子どもたちと道路で遭遇する頻度が低いため、**無意識のうちに安心**している人も多いのではないのでしょうか。

しかし、**休校措置**が取られている今は、状況が**まったく異なります**。

普段なら学校にいるはずの子どもたちが、**午前中から徒歩や自転車**で外に出かけている可能性があるからです。

■小学校**低学年**の子どもは、**交通事故に要注意**

最も死傷者数が多かったのは**小学1年生**の872人(死者28人)、次いで**2年生**の799人(死者20人)となっており、その数は**学年が上がる**にしたがって**減少**します。

6年生になると243人(死者は5人)です。

'''死者数だけに絞ると、小学1年生の死者数(28人)は、6年生(5人)の**5.6倍**にも上っていることがわかります。

しかし、**新型コロナウイルス**の影響で、別の不安も高まっています。

警視庁は45年間続けてきた警視総監による**新小学1年生への横断歩道の渡り方の指導**を、今年初めて**中止**にしたというのです。

春の交通安全週間に予定されていた**子ども向けの各種イベント**も、自粛せざるを得ないそうで、**新1年生**をはじめとする地域の子供たちへの**交通安全教育**は、残念ながら**あきらめざる**を得ない状況なのです。

これはとても心配なことです。

なにより今は、**新型コロナウイルス感染拡大防止対策**の中で、**人や車の動きに、例年にはない大きな変化**が現れています。

特に、休校の措置が取られている間は、子どもたちが**思わぬ時間帯**に、**思わぬ場所**へ出かけることを想定しなければなりません。

「新型コロナウイルスに感染しないために」ととられた措置が、**子どもを交通事故の危険にさらす**ことにならないよう、ドライバーのみなさんは**住宅街や駐車場での最徐行**を心がけてください。

そして、特に低学年のお子さんをお持ちの**保護者**の方々は、**子どもが外へ出る際**にはできるだけ**同行**し、**危険なポイント**を教えるなど、十分に注意を払っていただければと思います。